

## 令和5年第6回大仙市教育委員会定例会議事録

令和5年第6回大仙市教育委員会定例会を令和5年6月30日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

### 出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	工藤浩一
	中島康
	高見文子
	伊藤勝良

説明員	事務局長	山信田 浩
	次長兼教育総務課長	小松 大
	次長兼教育指導課長	藤原 秀一
	施設管理課長	高橋 隆伸
	学校給食総合センター所長	佐々木 満智子
	生涯学習課長	八嶋 洋晃
	次長兼総合図書館長	伊藤 ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品川 雄喜
	主幹兼教育研究所長	木元 真一
	花館公民館長	枝川 元
	神岡中央公民館長	齊藤 浩志
	大綱交流館長	遠藤 隆伸
	中仙公民館長	大阪 文博
	協和公民館長	阿部 成吾
	南外公民館 副主幹	山谷 健
	仙北公民館長	竹村 智子
	太田公民館長	草 彌晶子

事務局	教育総務課参事	堀川 あずさ
	// (書記) 教育総務課主幹	須田 崇

付議案件

- (1)議案第 31 号 令和 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 3 号）案に関する  
臨時代理について（教育指導課）
- (2)議案第 32 号 令和 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 4 号）案に関する  
臨時代理について（生涯学習課、総合市民会館）

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、須田主幹を指名します。

ただいまから、令和5年、第6回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

はじめに、これまで2期7年間にわたり、本市教育行政に貴重なご意見やご提言をいただいてまいりました工藤委員が、本日6月30日をもって退任することとなり、最後の定例会となります。

これまで、地域住民としてはもとより、若き農業経営者として、小・中学校等にお子様を通わせている保護者として、貴重なご意見をよせてくださいました。何よりも、地域の活性化や子どもたちの成長に対する熱い思い、教職員への温かい励ましは、学校はもとより市教育委員会事務局のメンバーにも大きな元気を与えてくださいました。また、大仙ふるさと博士育成事業の農業体験については、夏はもとより体験活動の確保が難しい冬期間であっても引き受けてくださり、感謝の言葉しかありません。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。今後も本市教育行政に関しまして、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。長きにわたり、本当にありがとうございました。工藤委員からは、本定例会の最後にご挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

なお、工藤委員の後任には、市議会第2回定例会初日に、中仙北地域の玉井有紗氏が教育委員として承認されておりますのでご報告いたします。玉井氏は、地域住民の代表として、小・中学生のお子様をもつ保護者として、本市教育行政について様々なご助言をいただけるものと期待しております。7月1日からの任期となりますのでよろしく願いいたします。

それでは、報告の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。はじめに、小・中学校の夏休みについてお伝えします。今年度は、7/20(木)～8/20(日)までの32日間が夏休み期間となります。教育委員会訪問がスタートし、今月は6校を訪問しております。10月末までをめぐりに、すべての小・中学校を訪問する予定ですので、委員の皆様のご参加についても、よろしく願いいたします。

特色ある教育活動につきましては、スポ少や部活動の大会が順調に開催されております。中学校郡市総体の団体戦の結果を掲載しております。全県大会は、野球が、7/24(月)から、他の競技は、7/15(土)から開催されます。本市中学生の活躍が期待されます。6/26、関係各課や団体の実務担当者が一堂に会した「第1回部活動地域移行検討委員会」を開催しております。5/22の本部会議を受け、運動部、文化部の2つの部会にわかれて、移行に向けたアンケートや組織の在り方などの具体的な内容についての協議を行っております。6/29には、教育事務の点検・評価に関する外部評価委員会が開催され、教育委員会の

事業等について説明し、現在評価をお願いしているところです。

感染症が落ち着いた状況にあることから、県外から学校への研修視察の受け入れを開始しております。コロナ禍以前、毎年のように本市で滞在型研修を行っていた和歌山県教育委員会は、昨年度から研修視察を再開しており、今回は、指導主事3名、教員16名、計19名が1週間滞在し、大曲小学校、大曲中学校で研修や授業実践を行うとともに、市教委でも行政説明を行っております。そのタイミングで、石巻市の国語の教員が学校視察を希望していたことから、大曲中学校で1日、研修をしております。足立区教育委員会は、コロナ禍以前は毎年のように本市で教員研修を行っており、今年度から再開したいとの強い希望があり、8月末から西仙北小学校・西仙北中学校で滞在型の視察研修を計画しております。その事前研修として、参加予定研修教員の所属校の管理職が研修視察に訪れたものです。

社会教育関係では、4年ぶりに「おぼこ節全国大会」が開催されました。遠くは大阪から、全部で100名をこえる方々が出場し盛大に開催されました。6/18には、「Music Festival in DAISEN 大音響2023」が開催されました。音楽のまち大仙として、将来の夢をもって活動しているアーティストを応援しようというイベントです。コロナ禍で中断しておりましたが、昨年から再開し5回目の開催となりました。地元を中心に活動しているアーティストや本市にゆかりのあるアーティスト6人名が出場し、市内外から幅広い年齢層の方が駆けつけてくださり、3階席にも観客が入るなど、これまで以上に大きな盛り上がりを見せました。社会教育委員と生涯学習推進連絡協議会委員の合同会議では、第4次生涯学習推進計画を踏まえ、関係事業について評価していただきましたので、今後の取組に生かしてまいります。

市長部局等との連携行事として、掲載の4つの会議に出席しております。

児童生徒の安全・安心面では、感染症の大きな流行や大きな事故等の報告はありませんでした。

その他として、市議会定例会での教育委員会関係の一般質問答弁を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

なお、定例会終了後に協議会を開催しますので、委員の皆様におかれましては、そのままお席に残っていただきますようお願いいたします。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

#### 教育総務課長

それでは、2ページを御覧ください。教育総務課は、4項目記載しております。はじめに、1番の大仙市議会定例会についてです。

令和5年第2回定例会が6月20日に終了し、教育委員会関係の議案は全て可決いただいております。

先月26日の教育委員会定例会後、市議会に補正予算案が追加提案されておりますが、教育委員会関係の案件については、教育長が臨時代理として今回事務処理しておりますので、次第4の付議案件で担当部署から内容を報告いたします。

次に、2番の教育事務の点検評価に関する外部評価委員会は、昨日6月29日に開催しております。

昨年度教育委員会が実施した事務事業のうち15の事業について、お二人の外部評価委員に事業内容を説明し、質疑応答を行いました。

外部評価委員は昨年度と同じく、社会福祉法人大空大仙の事務局長であります逸見博幸さん、そして中仙小学校の校長を務められました菅原潔さんをお願いいたしました。

両委員からいただいた評価を基に、このあと報告書案を作成いたしますが、その内容につきましては来月の定例会でご説明いたします。

教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は11項目あげておりますが、4点について報告いたします。

1番の事務指導訪問について、6/16日の豊成小・清水小をもって指導要録や出席簿等のチェックを行う事務指導が無事に終了いたしました。

2番の学校私費会計点検であります。事務の共同実施の7グループの内、6グループが終了し、7/4の大曲地区を残すのみとなっております。

3番の市教育委員会研修会児童生徒理解研修ですが、6/15に南教育事務所仙北出張所大川浩平指導主事を講師にお迎えして、特別支援教育についてオンラインで講話いただきました。

9番の第1回教育支援専門検査員会議については、6/28日には、5月の定例会で委嘱いただいた教育支援専門検査員の第1回の会議が行われました。活動スケジュール等が確認され、このあと園の訪問調査が行われます。

最後になりますが、市教育委員会による学校訪問も6月下旬からスタートしました。教育委員の皆様、中学校区の公民館長様にも同行していただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

教育指導課からは以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

#### 施設管理課長

施設管理課からは、各小中学校の床ワックス清掃業務委託の発注状況についてであります。

本事業は小中学校計30校を輪番で行っており、今年度は小学校5校、中学校2校の計7校で実施いたします。

履行期間は、6月28日から来年の1月31日までとしておりますが、夏休みあるいは冬休みの長期休業にあわせて実施することとしております。

なお、国交付金を活用した補助事業につきましては、各事業とも実施設計業務が完了し、現在、工事発注に向けた入札手続きに入っている状況となっております。

以上でございます。

#### 教育委員会事務局長

資料の訂正をお願いします。1ページの1番(4)6月の県外視察等について、足立区教育委員会の視察先が西仙北小学校と西仙北中学校となりますので資料の訂正をお願いいたします。

#### 伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

#### 学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の3項目のとおりです。

6月16日に行われました学校給食への地場農産物供給推進会議では、生産者、JA、農業振興課、そして学校給食センターが意見交換を行い、今後の地場農産物の利活用について協議しています。

学校給食総合センターからは、以上です。

#### 伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

#### 生涯学習課長

資料3ページをご覧ください。

生涯学習課の行事報告は記載の13項目となります。

その内、3番、6/6に開催した大仙市家庭教育支援チーム拡大会議についてありますが、家庭教育支援チームは、子育てや家庭教育に関する子育て世帯からの相談に応じたり、講座などの学習機会や地域の情報などを提供することを目的に、生涯学習課が主体となり、連携課として教育指導課・子ども支援課、そのほか、健康増進センターや、子ども・若者相談支援センターなどにもご協力いただき構成されたチームであります。

今回の会議では、今年度実施を予定している就学時健診時の子育て講座や子育て世帯向けパンフレット作製事業などの活動内容について意見交換しながら情報共有を図っております。

次に、11番の社会教育委員並びに生涯学習推進連絡協議会委員合同会議がありますが、令和4年度から令和8年度までの5カ年を期間とする第4次生涯学習推進計画に基づき、令和4年度に実施した各種事業について、有識者である各委員から各項目について事前に評価コメントをいただき、その内容について意見交換を行っております。今回、委員の皆様からいただきました貴重なご意見等につきましては、関係機関と共有し、今後の生涯学習事業の推進に役立ててまいります。

生涯学習課からは、以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館は、3項目記載しております。

2番の四ツ屋小学校2年生フィールドワークですけれども、6月14日に大曲図書館の館内見学の他、本の借り方や返却の仕方などについて、学んでいただいております。

3番の図書館協議会は、6月27日に委員の方10名にご出席いただきまして、図書館の事業や運営などについて貴重な御意見をいただいております。

総合図書館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、5項目記載しております。

1番と4番につきましては、教育長報告にもございましたとおり、4年ぶりに「秋田おばこ節全国大会」、「Music Festival in DAISEN 大音響 2023」が行われ、いずれも盛会裡に終了しております。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

#### 花館公民館長

花館公民館は、9項目を記載しております。

8番目になります、6/28に、4年ぶりの開催となりました、角間川町民ウォーキング大会を40人が参加し、開催しております。

今回は、歴代の角間川小学校の跡地巡りとして、2代目小学校があった、現在の公民館をスタートし、初代の小学校跡地といわれている、角間川御三家の後付近では、当時の創立の経緯などについて、地域ボランティアの方より説明を頂いております。そのあと、現在の小学校をとおり公民館まで、やく2kmの歴史散策となりました。2代目があった明治時代の小学校の写真と、現在は公民館となっている写真を見比べての説明もあったため、あまり知られていない角間川の魅力を再認識した事業となりました。

花館公民館は以上です。

#### 伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

#### 神岡中央公民館長

神岡中央公民館は4項目記載しておりますが、2のさわやかウォーキングについて説明いたします。6月11日の日曜日に毎年恒例となっているウォーキングイベントを実施いたしました。参加者は11名で内訳は市民10名、スポーツ推進委員1名です。小学生2名の参加もありました。コースはかみおか嶽雄館を出発し、大浦沼を經由して二タ子沢公園までの往復約6kmでした。二タ子沢公園は神岡地域の北側の台地にありまして、下の平地から20mほど高いだけですが、神岡地域を一望できる公園となっております。二タ子沢公園ではフライングディスクの体験と神岡地域の眺望を楽しんでいただきました。

また、当日は野鳥や草花などの自然に詳しい大仙市の元社会教育委員の鈴木三郎さんも参加されていたため、復路では大浦沼の野鳥や草花について解説いただき、参加者は興味深そうに話を聞いていました。

神岡中央公民館からは、以上です。

#### 伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

#### 大綱交流館長

大綱交流館では、5つの項目を記載してございますが、2つの項目について説明させていただきます。

3の第42回西仙北芸術祭は、6月24日、6月25日の2日間、大綱交流館を会場に開催し、西仙北小学校・中学校の児童、生徒、西仙北高校華道部の作品展示をはじめ、地域の芸術文化協会や交流事業として神岡地域の絵画サークル彩友

会のご協力をいただき、2日間で239人の来場がありました。200人参加予定となっておりますが、239人に修正をお願いします。

5のいきいきカレッジ西仙北地域の文化財大沢郷については、6月29日に大沢郷宿地区の雄清水や杉山田地区の月山神社、市の天然記念物のトチの木・ブナの原生林を探訪しております。16人参加予定となっておりますが、小雨の降る天候だったこともあり、9人の参加でした。資料の修正をお願いします。

大綱交流館の説明は以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、記載の2項目のとおりです。

2番の中仙地域生涯学習奨励員協議会視察研修を、6月28日奨励員3名、中仙公民館職員1名 計4名の参加で開催しております。視察は、横手市増田の内蔵4カ所、浅舞公園、角間川の旧本郷家を見学しております。

中仙公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館の行事は、記載の16項目となります。

その内、6番の秋田市ひろば女性学級については、協和公民館が随行して一日説明させていただきました。協和出身の女性が3名おりましたけれども、こんな近くにこのような施設があることは分からなかったということで改めて気づくことがあった研修だったと思います。

15番の花いっぱい運動についてですけれども、52名の参加がありましたが、高齢の方も多く、今後のあり方を検討しなければいけない課題となっております。

協和公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館 山谷

南外公民館長の佐藤ですが、本日、所用のため欠席となりましたので、わたくしは、南外公民館の山谷と申しますが、代理させていただきます。よろしくお願いいたします。

南外公民館は7項目あげさせていただきました。

詳細は記載のとおりですが、1番の南外の緑里山ウォーキングは、例年、橿岡さなぶり酒花火の翌朝、会場となった南外体育館駐車場と南外ふれあいパークのごみを拾いながらウォーキングを行っているもので、今回は12名の参加がありました。花火大会はコロナ禍となってから初めての通常開催となり、これまでにないほどの人出となりましたが、翌朝は、会場付近にごみがほとんどなく、気持ちのいいウォーキングとなりました。

6番の大仙市ふるさと探訪楽園ツアーは、橿岡城址の散策と南外民俗資料交流館で南外地域出身の堀井徳五郎さんが伝承した民話の昔語りを行っております。

資料には16名参加予定とありますが、17名の参加となりました。

このほかに当日橿岡城を守る会と大仙市民話の会から7名の会員の方に協力いただいております。また、橿岡城を守る会の皆さんには事前に草刈りも協力いただいております。

以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

はじめに資料の訂正をお願いします。8番が二つありますので、以降の番号の修正をお願いします。

仙北公民館 12項目挙げております。

3つ目、当館 5年ぶりの自衛隊コンサートですが、700枚配布したうち、600人の方にお出でいただきました。「楽しみにしていた」とか、「感激した」と涙を流しながらお礼を述べていってくれた方もいらっしゃいました。

10番目ですが、本日午前中、県立図書館の訪問を受けました。県立図書館の方3名と、南教育事務所から2名の方にお出でいただき、当館で実施しておる取り組み事案についてお話しを聴いていただき、アドバイス等を頂きました。

今後の図書館運営に繋がっていきたいと思います。

以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館からは 10 項目掲載しております。

8 番の太田キッズ学びい教室運営委員会についてご説明いたします。この事業は、夏休み中、小学生の学習をボランティアの方がサポート、お手伝する事業でございます。太田地域は3つの小学校があり、1つの会場に集まることで3小学校の交流も図られます。本事業はコロナにより3年間休止しておりましたが、7月27、28日の2日間の日程で開催予定で、内容を協議しました。ボランティアについては、地域の方、高校生、大学生、退職された先生などになります。ボランティアの高齢化等、心配な面もありますが、大仙、横手、仙北市内の各高校や、公民館関係の委員などへボランティア募集することとしました。

太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

小笠原委員

仙北公民館のふれあいスポーツランドソラーレ竣工式とありますが、今後、ソラーレは仙北公民館で管理、運営することになるのでしょうか。

仙北公民館長

所管は当公民館になります。令和5年度と6年度に関しましては、直営で管理することが決まっておりますが、予約受付等は、ふれ文周辺のスポーツ施設を一体管理している指定管理者と一年ごとに管理委託契約を結び、総合的な窓口は体育館の窓口として、予約の受付などを行っていく予定であります。

小笠原委員

ありがとうございます。今の業務にまたこの施設の管理、運営が入れば大変だろうなと思っただけの質問でした。

伊藤教育長

ほかにはいかがでしょうか。

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。

議案第31号「令和5年度大仙市一般会計補正予算（第3号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育指導課長から説明をお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第31号「令和5年度大仙市一般会計補正予算（第3号）案に関する臨時代理について、報告いたします。

資料は9ページから12ページまでとなります。

本案は、この補正予算案を市議会に提案するに当たり、市長から教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第2項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

資料11ページを御覧ください。

はじめに、今回の教育委員会関係の一般会計補正予算案の概要について御説明いたします。

10款教育費であります。関係項目の補正前の額が14億5,370万3,000円、補正額が99万3,000円、補正後の額を14億5,469万6,000円とするものです。補正後の内訳についてですが、1項の教育総務費に99万3,000円増額するものです。

次に事業について説明いたします。

資料12ページを御覧ください。事業名は「キャリア教育推進『総合的な学力育成』事業費」です。補正額の財源内訳は国庫支出金からとなっております。これは、「総合的な学力育成」事業として計画されていたものの中に、新たに【GIGAスクールにおける学びの充実事業 リーディングDXスクール事業】を追加したもので、本事業は文部科学省の委託事業であります。4番のActを御覧ください。こちらに事業内容、予算が記載されてあります。この事業を通して、クラウド環境を活用した効果的な教育のモデル校として、研究成果を発信し、市内全ての学校でICTを普段使いできるよう取組を進めて参りたいと考えております。

以上ご報告申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし。）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、本案は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は報告のとおり承認することとします。

次に、議案第32号「令和5年度大仙市一般会計補正予算（第4号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。生涯学習課長から順に、説明をお願いします。

生涯学習課長

それでは、議案第32号「令和5年度大仙市一般会計補正予算（第4号）案に関する臨時代理について」ご説明いたします。資料13ページから17ページとなります。

はじめに14ページをご覧ください。本案は、この補正予算案を市長が6月の大仙市議会定例会に提案するに当たり、教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第2項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

それでは、生涯学習課所管分について、資料16ページの事業説明書（6月補正予算②）でご説明いたします。

10款、5項、2目、20事業「第36期竜王戦大仙対局関連経費」につきまして、補正額は2,200万円、補正後の額も同額の2,200万円とするものでございます。補正額の財源は全額一般財源となります。

はじめに、1. Plan 事業の目的ですが、竜王戦を開催することで、将棋をとおして次世代へ伝統文化を継承することに加え、市の魅力を全国へ発信する絶好の機会と捉え、地域資源の有効活用による観光振興や地域の活性化につなげたいとするものでございます。目標につきましては、12月の対局日にむけ施設等の環境整備を万全にするほか、次世代を担う子ども達へ伝統文化の大切さを感じてもらうこと、それから、地域活性化を図るために一過性のものでなく持続性のあるイベントを今後展開しながら経済効果をもたらすことを目指すものでございます。

次に3. Check 欄の問題・課題であります。文化財施設を会場とした対局となるため、施設環境の整備を慎重に行う必要があること。それから、大仙市の魅力を最大限にPRできるビックチャンスでもありますので、民間事業者も巻き込

んでの関連イベント開催にむけ、商工団体等の協力も必要になると考えております。

次に4. ACT欄をご覧ください。当事業の概要であります。竜王戦第6局の対局にむけ、市の地域資源を活用した関連イベントを順次開催することとしております。(1)の表には第6局大仙対局の概要について現在決まっている内容をまとめておりますのでご覧ください。この内、項番2に記載の第36期竜王戦第6局大仙市実行委員会については、市長部局とも連携した全庁体制での組織として今月の23日付けで設立となっております。今後はこの実行委員会が主体となり準備を進めていく予定であります。次に、その下(2)補正予算の内訳となります。今般の補正予算は、今後実行委員会が実施する対局会場等の環境整備や関連イベント開催経費に対して、市が負担金として支出するものであり、その内訳を4 Act欄一番下の表にまとめておりますので、そちらをご覧ください。実行委員会事業費(概算)であります。はじめに、歳入項目となります。12月5日開催予定であります前夜祭の会費収入と12月7日に予定している大盤解説会の入場料収入、それから竜王戦関連グッズの物販収入、これらの収入の合計348万円を歳入として計上しております。次に歳出項目となります。はじめに、関係者旅費の項目であります。これは、対局者2名を含む主催者側30名の交通費及び宿泊費、宿泊費は2泊3日分となりますが、あわせて310万4千円を計上しております。次に、前夜祭の歳出ですが、内訳として、飲食にかかる経費、それから竜王戦歓迎花火打ち上げ代、記念品・参加者への土産品代等あわせて383万8千円としております。次に、対局会場に係る経費であります。主なものとして、対局室の備品調達費のほか、光回線工事、電源増設工事、あとは12月の開催ということから除雪費用等も含む環境整備費等あわせて682万1千円としております。次に大盤解説会に係る歳出につきましては、解説者と聞き手をお願いするプロ棋士2名への報酬のほか、機材調達費、入場者への手土産品代等合わせて184万7千円としております。次に、伝統文化の継承や大仙市の魅力を全国へPRするため実行委員会が計画するイベント開催経費であります。現在想定している内容の一例をあげさせていただきますと、食のプロジェクトとして、「タイトル」の行方と共に全国から注目されます「棋士が選んだ勝負めし・おやつ・ドリンク」のコンテストなどを検討しております。

また、小中学生を対象としたイベントとしては、地元小中学生による歓迎セレモニーのほか、児童・生徒が考案した食事メニューのコンテストなども食のイベントとして実施できればと考えております。その他、対局や関連イベント等周知のためのHP等の整備など広報宣伝費など合わせて933万円を計上させていただきます。表の最後の項目として、各種手続きに必要な手数料等の事務費を54万円と見込み、これら経費の合計が2,548万円となりまして、歳入の348万円を差し引いた2,200万円を実行委員会へ支出する負担金として補正予算に計上し今般ご承認をお願いするものであります。

なお、前回の教育委員会定例会でもご説明いたしましたが、七番勝負となる竜

王戦について、第5局までに勝敗がついて大仙市で対局が行われなかった場合は竜王となった棋士をお招きし、祝賀会や交流イベントなどを行う予定であります。

また、今般の補正予算につきましては、対局や関連イベントに係る経費につきまして、まだ具体化していない内容も多くあることから、大枠でとらえて予算の積算をしている部分もありますので、予算執行の際は可能な限り支出の抑制に努め、事業終了後には、事業実績とあわせ、事業費を精算したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

以上、生涯学習課所管の補正予算についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

#### 総合市民会館長

続きまして、総合市民会館所管分について御説明いたします。

事業名は「仙北ふれあい文化センター管理費」の補正であります。補正額1,702千円、補正後の額は23,993千円であります。補正額の財源は全て一般財源になります。

1、Planであります。仙北ふれあい文化センターは平成6年の建築から28年が経過し、経年劣化により、機械室に設置しております給水ポンプの制御盤が故障しております。

利用者及び建物の安全安心を確保するため、必要な修繕を実施し、利用者の利便性と満足度の向上を図るものであります。利用者の不便とならないよう早期に着手・完成を目指したいと考えております。

4番のアクトの欄をご覧ください。令和5年4月、ふれあい文化センターと仙北図書館を給水範囲とする受水槽から各部屋へ送水する給水ポンプの制御盤が故障したため、断水し、その後、内部部品の交換を試みましたが、復旧しませんでした。現在は、手動による常時運転で運用しており、常にポンプに負荷がかかっている状態で、今後、多目的グラウンドの供用開始や新型コロナワクチン集団接種を予定しており、施設利用者の増加が見込まれているため、早急な交換が必要となっております。給水ポンプは平成6年の建設当初からのものであり28年が経過し、制御盤と同型ポンプは製造終了しており、制御盤とポンプは一体となっているため、現行の制御盤単独の交換は不可能であり、ポンプと制御盤一式の交換が必要となり、給水ポンプユニット更新工事一式をお願いするものでございます。

以上、総合市民会館所管分の補正予算について、ご説明申し上げます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし。）

伊藤教育長

ふれあい文化センターについては、利用者に支障ないように早急に対応することになります。

竜王戦については、まだ具体が見えませんが、予算がないことには動きませんので、まずは必要な分を大きく見積もって、しっかり地域活性化等に繋げていきたいと強い思いでの予算であります。

よろしいでしょうか。それでは、本案は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は、報告のとおり承認することとします。

以上で、付議案件の審議を終わります。

次に、次第の5番、その他に入ります。

7月の定例記者会見で発表する事業について、教育指導課と生涯学習課から御説明いたします。はじめに、教育指導課長お願いします

教育指導課長

教育指導課の記者会見案件「ふるさと農業体験DAY」、「企業見学DAY」について御説明いたします。配付の別添資料ナンバー2をご覧ください。

大仙ふるさと博士夏の特別企画「ふるさと農業体験 DAY」、「企業見学 DAY」を今年度も計画しました。昨年度はどちらの企画も予想以上の申込があり、小中学生の子どもたちは生き生きと活動しておりました。今年度も実施して参ります

農業体験では工藤委員に、今年度も御協力よろしくお願ひいたします。

教育指導課からは以上でございます。

伊藤教育長

続いて、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課からは2件でございます。

はじめに、市民が主役の地域づくり講座「大仙アカデミー」についてご説明いたします。配布の別添資料ナンバー3をご覧ください。

当事業は、市民が地域における「つながり」「絆」を再認識し、地域づくりへ積極的に参画するきっかけとなることを目的に市民が主役の地域づくり講座を開催するものです。

3回目となる今回の講座の詳細は資料の囲み部分となります。日時は令和5年7月29日(土)午後2時から、かつて、スーパー公務員と呼ばれた方の1人で、日本地域創生学会の木村俊昭会長を講師にお招きして、「ないものねだりからあるもの探しのまちづくり」を演題に、ひと育、まち育てについてこれまでの経験や事例を交えたストーリー性のある内容のお話しをお伺いする予定であります。大曲市民会館大ホールを会場に、全市民を対象として、定員は300名程度を想定しております。受講料は無料ではありますが、受講希望の場合は事前申し込みが必要となります。

当事業は、市民が主役の地域づくり実現への一助となることを期待して開催するものであり、今年度は第4回目を10月に、第5回目を来年3月に開催する予定でありますので、よろしく願いいたします。

続きまして、「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」についてご説明いたします。配布の別添資料ナンバー4をご覧ください。

このツアーは、市民の皆さんが市内の地域資源を探訪し、ふるさと大仙の魅力を再発見していただくもので、参加者が「もっと地域を知りたい」と地域資源に対する学習意欲を持つきっかけづくりとなったことから、令和3年度から継続して実施している事業であります。当日は、市内各地を市の職員や地域の方がガイドとなって案内し、実は知られているようで、知られていない市の魅力を再認識し体験できるツアーでありまして、何よりも気軽に参加できるメニューを取り揃えていることがこのツアーの魅力となります。

ツアーの内容ですが、参加対象は大仙市にお住まいの方としておりますが、申し込みが定員に達しない場合は市外の方でも参加可能としております。参加費は無料となります。今回のツアーの行程は、①番7月20日に予定する神岡地域の歴史とスポーツの探訪からはじまりまして、②番7月27日に予定する西仙北地域の新たな魅力探訪、同じく7月27日に予定する③番、協和地域のおもしろ発見探訪まで、歴史・自然・文化・スポーツなどに関連した3つの地域資源メニューを予定しております。詳細につきましては、資料のとおりでございます。

なお、特典として、ツアー参加者のうち、健幸まちづくりプロジェクト参加者には100ポイント、小中学生にはふるさと博士3ポイントを付与することとしております。また、今回は夏のツアーとなりますが、今後は秋のツアーも9月以降、順次開催する予定としております。

ご説明は以上となります。

## 伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

私も探訪楽園ツアーに一部しか参加できておりませんが、きちんと説明を聞くと、今まで見えてこなかったものがたくさん見えるなど思っております。

アカデミーは昨年2回とも出席しましたけれども、本当に視野が広がると思いますか、驚きの連続でしたので、是非お時間があれば参加いただければと思います。

農業体験DAYは、工藤委員よろしくお願ひします。

企業見学DAYは、今までずっと製造業でしたので、今回初めて建設業、建設土木業にも目を向けたところであります。募集開始しておりますが、どのような反応になるのか、まずはやってみてとなりますが、また何かの折りにお伝えしたいと思ひます。

その他のことについて、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

## 工藤委員

2点ほど。すぐに答えを求めるわけではありませんが、2点ほど今後に向けて考えてほしいなという点があります。

一点目は、PTAについてです。3月の国会答弁の中で、PTAの入退会は自由であると、文部科学大臣がそのように答弁しておりました。今現状どうだろうかと照らし合わせたときに、強制とまではいかないまでも流れで入っている。入退会は自由であるといいながらも、現場レベルでは流れで入っていて、強制とまではいかないまでも流れで会費を徴収されているという状況である。これが、自由であるという話が出ている中で、勝手に現場で行われているのは、うまく表現できませんが、時代には合っていないのかなという感じはしております。一方で、大仙市の現状を見ると合っていないわけではないとも捉えられる。今後、社会的な流れがどうなっていくのかを頭に入れながら、何かあったときにタイトに対応出来るように研究しておいた方が良く思ひます。そうすると、自ずと、例えば地域で寄付活動が強制的に行われている。そういったことも同じことが言えるだろうと思ひます。例えば、PTAに入りますか、入りませんかと確認を取ることが、もしかすると必要になるかもしれないし、ただ、大仙市の現状を見るとそこまでではない気がする。こういったことが様々なメディアで報道されているので、今後、こういった考えの人が出てくるか分かりませんので、何かあったときの策を持っておくのも大事なのかなと思ひます。出来るのであれば、先に対策を打っておくべきだと思ひます。今すぐどうこうではなく、考えていただければ良いと思ひます。

二点目は、コミュニティスクールについてです。今ここにいる皆さんは、誰が

委員になっているかご存じですか。なぜかと言いますと、先日ある方に委員になりましたと、よろしく願いますという話をされました。そうでしたかと言おうか迷いましたが、そうでしたねと言いました。やっぱり、教育委員には誰が委員になったのか教えていただいても良いのかなと思っています。次回からは玉井さんが来ますが、ゼロからスタートということではないけれども、ご検討いただければと思いますので、よろしく願います。

伊藤教育長

ありがとうございました。今すぐにとということではないということではありましたが、まずはPTAのことについて、何か連合会からあればお話いただきたいと思います。

教育指導課長

先日、PTA連合会の総会に参加して参りました。そこで事務局と話をしてみました。大仙市に関して言えば、全員PTA会員として入会していただいております。PTA会員になるにあたって、トラブル等ありましたかと聞きましたが、トラブルの報告も受けていないという情報は得て参りました。

伊藤教育長

工藤委員からも今すぐにとということではないけれども、全国的な話題になっていることは、皆様も御承知だと思いますので、本市だけでなく、県内場合によっては県外の状況も収集して参りたいと思います。

二点目は、コミュニティスクールの委員等の情報共有についてのお話でしたが、委員の情報提供等について何かあれば願います。

生涯学習課長

コミュニティスクールや委員ですと生涯学習奨励員など様々ありますけれども、委嘱する際は、決裁をそれぞれの課で対応しております。それを定例会の場で委員の皆様へ資料としてお渡しして周知しているかということ、出来ていないのではないかと思います。最低限、委員や活動されている方の名簿に関しては共有していく必要があると改めて感じたところであります。ありがとうございました。

伊藤教育長

推進員も含めて色々な方々の名簿等ありますので、どこまで情報共有して、どんな形とするのか、今後検討して対応して参ります。ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、教育総務課長から次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

今回は7月28日金曜日、午後3時30分から、こちら大会議室で開催したいと考えております。

伊藤教育長

次回定例会は、7月28日金曜日、午後3時30分から、ここ大会議室にて開催、としての提案です。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

では、次回定例会は、そのように予定いたしますので、よろしくお願いたします。

そして、工藤委員には大変お世話になりました。ありがとうございました。

ここで、工藤委員から御挨拶を頂戴したいと思います。工藤委員よろしくお願いたします

～ 工藤委員 退任挨拶 ～

伊藤教育長

工藤委員ありがとうございました。

なお、この後ここで協議会を行いますので、委員の皆様と関係職員はお残りいただきますようお願いいたします。

以上で、定例会を閉じます。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。